

日本 GLP 株式会社×認定 NPO 法人ハンズオン東京×児童養護施設 共生会希望の家

日本 GLP のコアビジネスである物流施設の開発や物流ソリューションの提供は、社会インフラを支えるビジネスであり、災害に強い施設、地域の避難場所となり得る施設、どんなときも物流を止めない施設を開発するという事業そのものが社会貢献の一端を担っており、社員のモチベーションにもつながっています。

日本 GLP では、社員が仕事にも、さまざまな社内外の活動にも主体的、自発的に取り組んでほしいと考えています。普段接点のない人たちとの交流を通じて得られる「気づき」や「学び」により、視点が変わり、新たなアイデアを生み出すきっかけにもなります。

日本 GLP ボランティアプログラムについても、社員に強制するのではなく、社員の自主性を重んじています。2016年から、NPO 法人ハンズオン東京 (<http://www.handsontokyo.org/>) と一緒に児童養護施設「希望の家」の子どもたちの自立支援をサポートするプログラムを企画・運営しています。本プログラムは、家庭の事情により親元を離れて暮らす子どもたちへの中長期的な支援と関係構築を行い、子どもたちの成長をサポートします。日本 GLP では、年 4 回、子どもたちと社員のスポーツ交流会や職場体験、会社見学などを実施しています。長期的な支援により、参加する多くの子どもたちにとって安心感が生まれ、1 回のみならず、継続して日本 GLP が企画するプログラムに参加しております。日本 GLP 社員も参加意欲も向上し、子どもたちの成長を見守りながら、より深く、濃い関係性を構築しております。

また、学生時代から全国のボランティア活動に参加し、日本 GLP へも、社会に貢献できる仕事がしたいとの思いで入社し、環境物流に力を入れている社員が、全従業員ミーティングでボランティア体験のプレゼンテーションを行い、社会貢献の重要性やボランティアに参加することで得られる達成感ややりがいを伝えました。このような取り組みが社員のボランティアプログラムへの参加意識向上にもつながっています。



社内キッチンエリアで月 2 回開催されるチャリティランチ会（参加料金：1 人あたり最低 500 円以上）をボランティア活動費に充てています。ランチ会は、ケータリングでランチを提供してもらえるお店に来てもらい、社内キッチンエリアで全社員が任意で参加できる自由参加型のイベントです。社員が部署・役職・社歴関係なく交流できる場となっており、ボランティア活動に当日参加できない社員もチャリティランチを通じて活動のサポートを行っています。下記は、今年実施した主なプログラムです。

- ◆1 月 ボルダリング体験：希望の家の子どもたち 13 名、社員 10 名が参加し、ボルダリングとランチ交流会を実施
- ◆5 月 バブルサッカー体験：希望の家の子どもたち 10 名、社員 10 名が参加し、バブルサッカー大会を開催。
- ◆8 月 就業体験：希望の家の子どもたち 6 名が、ランチ会で全社員との交流後、就業体験（オフィスツアー、会社紹介、社員へのインタビューとレポート作成）に参加。



<ボランティアプログラム制度概要>

ボランティアの目的：社会と共生する「良き企業市民」を目指す

- ◆ボランティア休暇：年に 2 日（平日のみ）付与。
- ◆ボランティア活動費補助：活動参加費はチャリティランチ会（毎月 2 回開催）の食事代一人 500 円を社員から集め、充当する。交通費（普通運賃のみ）は会社がサポート。
- ◆保険については既存の傷害保険にてカバー：従業員による個別のボランティア保険の加入は不要。

第 4 回企業ボランティア・アワード大賞
(2019 年 2 月 22 日)